

毎年夏が早くなっているが、それにしても早すぎる。しとしとと降る雨に紫陽花が色を濃くしてはならず、暑い陽光にげんなりとしている。気候変動は急速に早まっているのに、環境問題に背を向ける大統領。暴虐と脅しをディールと称し、殺戮を繰り返し、侵略した国に降伏を迫る。



自分の利益のためでなく、国民の幸福と平和のために働くのが政治家。戦争をする人は、クズ。子ども達の未来を思うと暗くなる。

そんな中でも、子ども達は虫捕りに夢中になり、プール遊びに歓声を上げる。今年の夏も、戦争のない、美しい地球で幸せな幼児期の生活ができる喜びを世界中の子ども達に。

理事長 浅田 精利



行事予定表		
1	火	ピヨピヨ
2	水	交通安全教室
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	七夕
8	火	笹焼き
9	水	リトミック②
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	体操
15	火	
16	水	おべんとうデー/ふたばっこサマー2025
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	
23	水	
24	木	誕生会
25	金	読み聞かせ14:00~(ぞうグループ)
26	土	
27	日	
28	月	体操
29	火	
30	水	避難訓練
31	木	巡回相談

今月の予定から...

●ピヨピヨひろば(1日)  
・地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」として、月1回設定保育を実施しています。園開放も行っていますので育休中の方もどうぞ遊びに来て下さい。

●交通安全教室(2日)  
・今回は道路の歩き方、渡り方を教員の方たちに教えていただきます。※来月より4歳児(キリングループ)も参加する予定です。

●七夕(7日)  
・この日の午前中にクラス写真を撮影します。※最初のクラスは9時15分撮影予定です。

●笹焼き(8日)

・園庭でみんなの短冊や笹飾りを燃やして天に届けますよ。願いが叶いますように！  
※普段より9時までの登園をどうぞよろしく願います。



●リトミック(9日)

・今月中島先生と一緒にリトミックを楽しみますよ。教えていただいたリトミックは朝の会などでも行っています。

●ふたばっこサマー2025(16日)  
・この日の午前中園全体で水遊びを思い切り楽しむ予定です。

●おべんとうデー(16日)

・子どもたちが待ちに待っているおべんとうデー。お子さんが好きなものと一緒に愛情もたくさん入れてあげて下さいね。※気温が上がってきました。乳製品、要冷蔵のものは避けて下さい。また、お弁当箱の上に保冷剤(名前記入して)も必ず入れて下さい。

●誕生会(24日)

・1年に1回誕生児にとって大切な日を「おめでとう！」と心からお祝いします。※誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。

●読み聞かせ(25日)(ぞうグループ)14時

・今月も牛久市の幼児教育アドバイザーの先生方の読み聞かせがあります。子どもたちも楽しみにしていますよ。

●避難訓練(30日)

・毎月の避難訓練で、地震・火事等を想定して命の大切さや避難の仕方を学びます。

●巡回相談(31日)

・年数回、経験豊富な心理や発達の特任家が保育園を訪問しています。日頃のお子さんの育ちで気になる事等があれば、アドバイスをしてもらおうことが出来ます。ご相談等ありましたらどうぞお声がけ下さい。



「機会と経験を平等に！」

昨年末に行われた小学生のサッカー大会で選手登録した749人のうち、130人が出場せずに大会を終えたという。登録されなかった子、登録されたが、遠くからやって来ても、一度もピッチに立てず、帰った子どもの気持ちを思うと心が痛んだ。

▼少年サッカークラブを作ったことがある。たくさんの子も達が集まり、メンバーが増え続け、外部のチームと試合するようになった。そして、県大会に出場し、学年別大会で優勝した。すると、親

も盛り上がり、応援も過熱した。勝敗にこだわるようになった。勝つために子どもを選別し、レギュラーをつくることになる。選ばれなかった子は、試合に出られない。試合経験を得られる子と、体験の差ができる。大きな差になる。そこで、大会に出場できない子にも試合経験ができるように、練習試合をしようと呼び掛けた。しかし、大会の勝敗に夢中になった大人からは賛同を得られなかった。▼昔は、学校から帰ると、近くの空地や路地に自然と子ども達が集まり、年上の子ども年下の子も混じって、今は見かけられなくなった草野球や草サッカーが始まる。年令も体力も技術も関係なく、誰もが平等に参加でき、勝敗にこだわらず遊んだ。

幼稚園では、子ども達が自然に集まって来て、サッカーやケリ野球をすることがあるが、私が入るとバランスが崩れてしまふことや、子ども同士が教え合っただけのチームを作ることの妨げになるので、積極的に入らないようにしている。入ると、審判だけしてと、おいだされることがある。▼幼児期は、同じ年令でも一年近くの違いがある。体格も体力も大きな差がある。同じ月令でも早く成長する子もいれば、後から急に成長する子もいる。早くから峻別して競わせることは、子どもの発達に害がある。▼大切なのは将来の芽を摘まないこと。全ての子にプレーをするチャンスと平等に与え、同じ経験をさせ、ゲームを楽しむことができることである。これは、幼少期のすべてに言えることである。早く発達することだけが、良いわけではない。大人は、もっとゆったりと大らかに子どもを見守ることが大切である。

